

資 料 編

インターネット依存症予防教室（東部圏）

子どもたちのネット長時間利用の 現状と対応のあり方

日時：平成30年9月1日
主催：群馬県、群馬県青少年育成推進会議
講師：高橋大洋（子どもたちのインターネット利用について考える研究会 事務局）

1

子どもたちの インターネット利用の状況

3

講師自己紹介

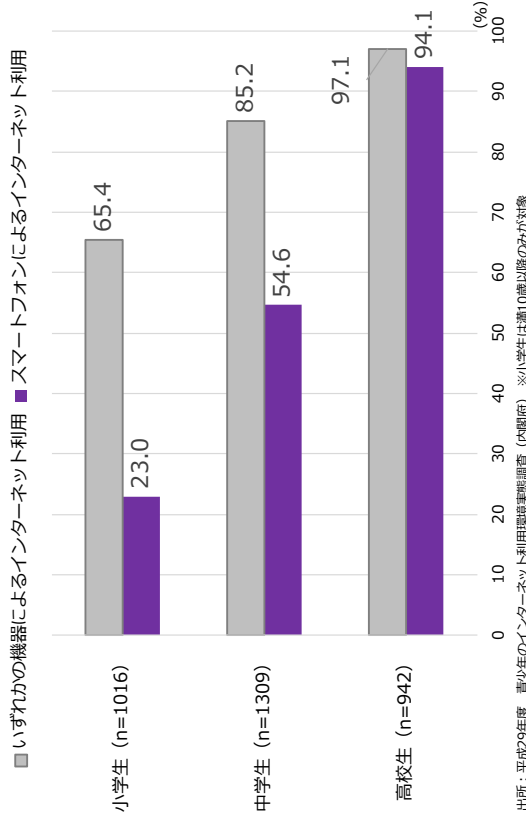
- 高橋大洋（たかはし たいよう）
 - 子どもたちのインターネット利用について考える研究会（理事長：坂元肇、お茶の水女子大教授） 事務局
 - 一般社団法人セーフアークインターネット協会（東京） 主席研究員
- 札幌市在住・二児の父
- インターネットの安全と活用についての

調査研究・教育実践

- コンピュータウイルス対策・フィルタリング・SNS運営サポート事業者で勤務
- 総務省・経産省・警察庁の検討会委員などを経験
- 保護者・教員向け研修講師、NTTドコモ教材制作外部助言、眠育アドバイザー
- 国立大学法人小樽商科大学 非常勤講師（メディアイノベーション）
- 著書（共著）『学生のためのSNS活用の技術 第2版』（講談社）

2

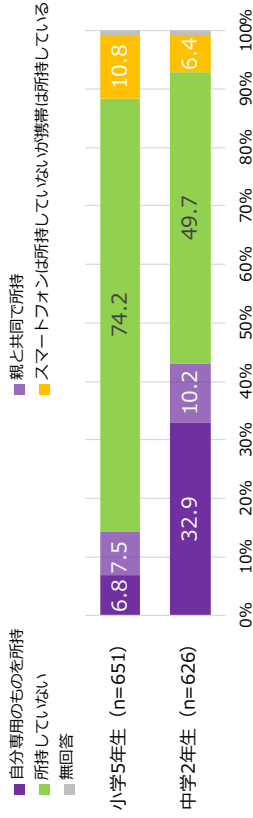
児童生徒のインターネット利用率（全国）



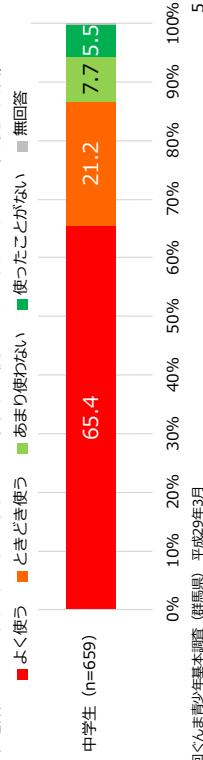
4

児童生徒のスマートフォン所持と使う頻度（群馬県）

質問：お父さんはスマートフォンを所持していますか。（保護者が回答）



質問：携帯電話やスマートフォンなどでインターネットを使うことがありますか。（生徒が回答）



出所：第7回ぐんま県青少年基本調査（群馬県）平成29年3月

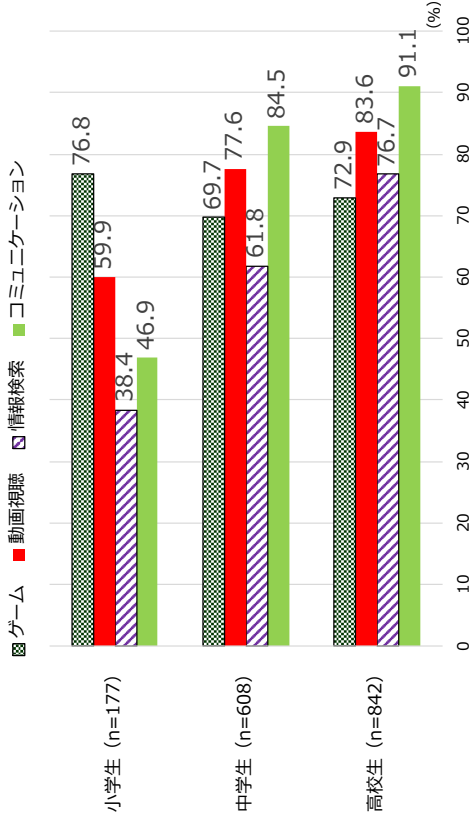
5

学齢別の典型的な利用の姿

- 未就学～低学年
 - 写真・動画やゲームで一人遊び。
- 小学生中～高学年（仕組みを知らないままにネットを利用）
 - 動画やゲームに夢中。保護者スマホや携帯ゲーム機の利用。
 - 高学年一部はSNS利用を開始。長時間利用傾向の児童も。
- 中学生（一斉にデビュー）
 - LINEデビュー。TwitterやInstagram、SNOW等へ進む。
 - SNS・画像加工アプリの自己表現手段としての魅力。
 - 長時間利用（つながらり型/娯楽型）が共通の課題に。
- 高校生（利用しないという選択肢がなくなる時期）
 - 生活の基盤としてのスマホ。SNSトラブルの深刻化。金銭的被害も。

6

児童生徒のインターネットの利用内容（全国）



出所：平成29年度 青少年のインターネット利用実態調査（内閣府）※一部回答を抜粋 ※小学生は満10歳以降のみが対象

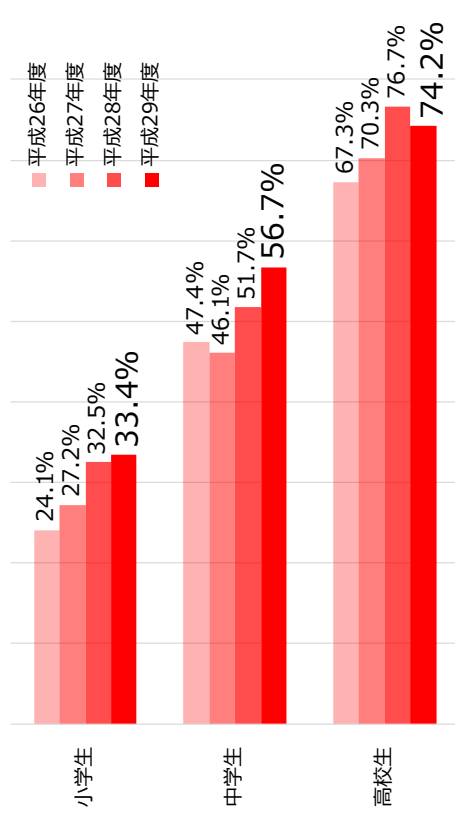
7

長時間利用の現状と 問題点

8

児童生徒のネット利用の長時間化

平日1日あたり2時間以上利用すると答えた児童生徒の割合

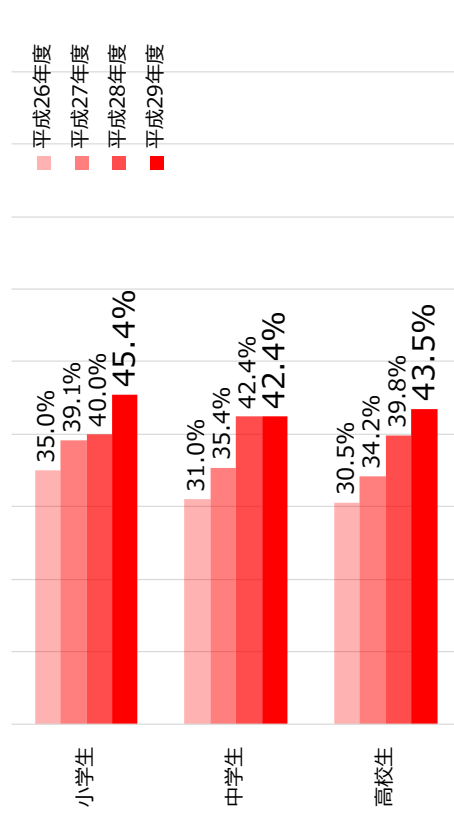


出所：平成29年度 青少年のインターネット利用実態調査（内閣府）

9

保護者にもみられるネット利用の長時間化

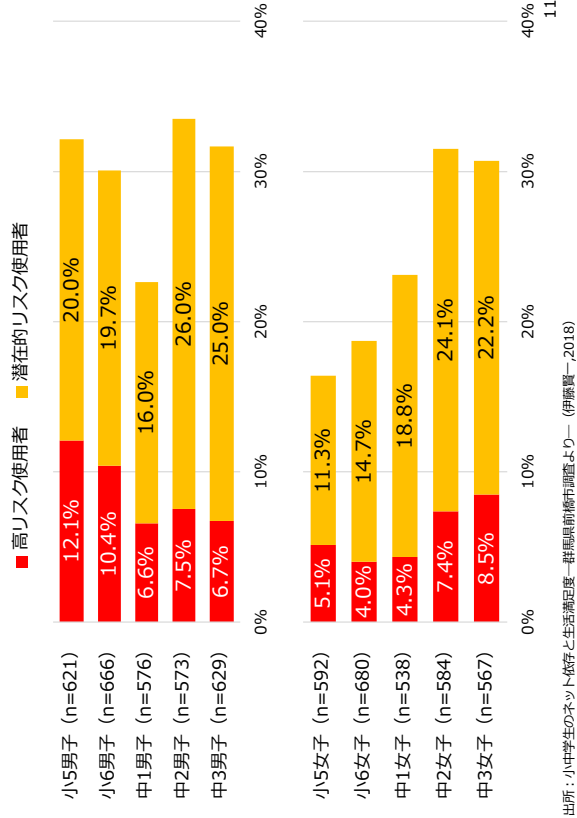
平日1日あたり2時間以上利用すると答えた保護者の割合



出所：平成29年度 青少年のインターネット利用実態調査（内閣府）

10

性別・学年別のネット依存状況の違い



出所：小中学生のネット依存と生活満足度一群馬県前橋市調査より（伊藤賢一,2018）

11

長時間利用の二類型

- 娯楽型
 - オンラインゲーム
 - ソーシャルゲーム（すまみ時間にプレイ、無課金≠長時間化）
 - 動画
 - ユーチューバー、○○してみた、ゲーム実況、ミュージックビデオ
 - 参加型、ライブ型、短時間型、スマホ上で加工、SNSに直接投稿
- つながり型
 - グループトーク
 - 仲間はずれにされなれないための即返信、複数グループへの参加